



瀧本 孝一 議員

一問一答方式

人口減少進展の中で これからの遠野市は

市長 新しい視点で思い切ったチャレンジが必要

問………
まずまず進展する少子化、高齢化、人口減少の現状認識は。

答(市長)………
認識は議員の指摘と一緒に。持続可能な将来像を描くために全く新しい視点で、思い切ったチャレンジをしなければならない。

答(市長)………
公約は政策実現のために計画となり、事業となつて進めている。引き続き事業全体の着実な推進に努めていく。

問………
財政と政策のバランスの取れ具合の分析は。

答(市長)………
予算の付け方は以前とは全く変わった。財政シミュレーションの

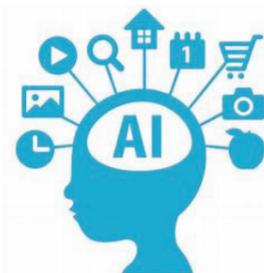
もと、規律を堅持した上で政策の実現性を担保し、市政運営にあたって行く。

問………
きらりと光る存在感を示せる本市のあり方と方向性については。

答(市長)………
みんなで一緒に力を合わせて本物の地域づくり、本物の社会づくりをしていけば光ると思う。

市長選挙時に発表した5つのまちづくりの公約の進捗状況は。

………



生成AI社会で 市政への活用や影響は

市長 便利だが 定員の削減には即つながらない

問………
生成AIといわれる人工頭脳、対話型チャットGPTが急速に普及しているが、この認識は。

答(市長)………
便利だなと思う。事務の時間が省かれ、もつと上のことを考える時間ができる。

問………
人間がものを考えなくて済む社会の到来の懸念と危険性の見解は。

答(市長)………
使う人や使い方によるが、チャットGPTをちゃんと使う事によつてもつと高度なことを考えていくことができる。

問………
行政サービスへの導入や、これからの社会に向けた対応は。

………

答(市長)………
職員は今でもちよつと足りない。定員の削減には即つながらないことはない。

問………
市役所も窓口対応職員など人員の大幅な削減も可能となるが、影響等の見解は。

答(市長)………
………

※AI = Artificial Intelligenceの略 人工知能
※チャットGPT=アメリカの企業が開発した人工知能を使ったチャットサービスで、人間の質問に対してまるで人間のように自然でクオリティの高い回答をする。

水道事業の現状を 踏まえた課題認識は

市長 今後の大きな検討課題

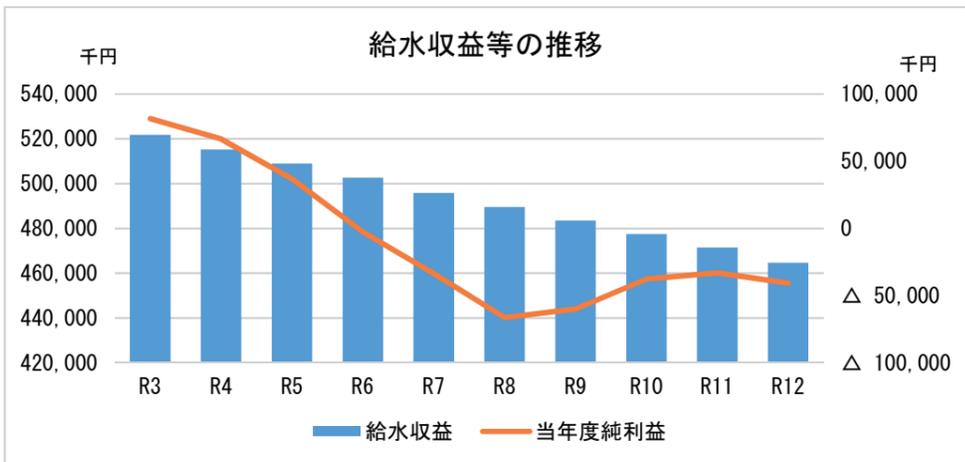
問………
水道管は、既に法定耐用年数を経過しているものが多く存在する。更に、管路の更新が老朽化に追いついていない現状認識は。

答(市長)………
法定耐用年数は40年である。最近、立て続けに水道管破裂が続き、令和6年度以降は何処が壊れてもおかしくない状況にある。また、高額な予算措置も必要になる。

問………
事業運営の収支状況は、一般会計から年3億6千万円の繰り入れにより黒字を維持している。今後、人口減少による利用料金の減収や、設備更新に係る膨大な費用発生等により大幅な赤字が見込まれる。解決策として、安易な料金値上げは市民生活を脅かすことになので慎重な検討を望む。

答(市長)………
遠野市の水道料金は、平成12年から変わっていないのも大きな課題である。

令和4年10月に有識者と市民代表者から意見を聞く諮問機関を設置した。その意見を伺い、問題の先送りせず解決策を見出す。



佐々木 大三郎 議員

一問一答方式

その他の質問

- 林業振興対策について

小中学校教員の 長時間労働の改善対策は

教育長 改善に向け鋭意取り組み中

問………
善に向けた取り組み状況は。

答(教育長)………
令和2年度に勤務時間の把握のためタイムレコーダーを導入。令和3年度に「教職員の働き方改革推進会議」を設置、「教職員働き方改革プラン」を策定し取り組んできた。結果は、年々減少傾向にあり全国平均値を大きく下回っている。しかし、目標未達成なので引き続き取り組みを進めていく。

問………
教職員を服務監督する立場にある教育長と、現場管理者である校長の判断・方針により改善されるのでは。

答(教育長)………
………

問………
最近の各報道機関発表によると、長時間労働は一定の改善が見られるものの、解消には程遠い現実が浮き彫りにされている。市内の残業時間と改

………